

地域とともに育む「心の力」

10月30日(水)

くずまんじゅうづくり

【放課後子ども教室】



本校では、「自分をコントロールする力」「自分を高める力」「他者とつながる力」を柱に、心の力（非認知能力）の育成を進めています。

地域でも、今年度から月に1回、地域コーディネーターさんを中心に、放課後子ども教室が開催されています。子どもたちが安心して過ごし、遊びや体験、人との交流を通して豊かに育つことをねらいとしています。

非認知能力は、特別な活動の中だけで育つものではなく、楽しみながら、人と関わりながら、自分で考えながら、ときには気持ちをコントロールしながら活動する、そうした経験の積み重ねの中で育まれます。

5回目となる今回は、吉野本くず専門店「天極堂」さんによる出前授業で、「くずまんじゅうづくり」に挑戦しました。くずの粉から、くずあんを自分たちでつくるところからスタート。



教えていただきながら、材料を混ぜたり、火を加えたりしながら、少しずつくずあんができていく様子を体験しました。最後は、できあがったくずであんこを包んで、くずまんじゅうの完成です。



10月30日(水)

自分たちでつくったくずまんじゅうを口にすると、子どもたちは思わず満面の笑み。

放課後子ども教室は、地域の中で「心の力」を育む大切な場です。地域の皆様に支えていただきながら、これからも子どもたちが楽しみ、考え、関わりながら学ぶことのできる場として、地域とともに大切に育てていきたいと思いをします。

